

# 森の仕事を知っていますか

山に苗木を植え、ほうっておいて百年後に良材が得られるわけではありません。伐って、植えて、育てる…木を利用しながら森を維持する「緑の管理サイクル」をご案内しましょう。

### 下草刈り

夏、苗木より背の高い草木が日光を遮らないよう刈り取ります。てっぺんの枝が周りの植物の背丈を追い抜くまで、何回も行います。



### 枝打ち・除伐

材木になったとき、なるべく節が残らないよう、下方の枝を削ぎ落とします。立ち枯れた木や、成長をさまたげる雑木は切り倒しておきます。

### 枝打ち(ハシゴ打ち)

地上から手が届かないほど成長した木にハシゴを掛け、枝打ちをします。枝を切られた傷跡は、何年かかけてきれいに修復されます。



### 間伐

過密になった森では木が成長しにくく、太陽光も不足するので、何度か間引きを行い、将来の良材を育てます。間伐の行き届いた森では、地表まで光が射し込み、下層植生も豊かです。



### 植林

春先、皆伐された山に苗木を植えていきます。鹿に食べられないよう、植林地には防獣ネットが張りめぐらされます。



### 皆伐後の山

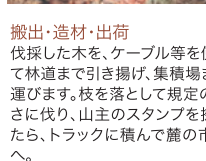
皆伐されて切り株だけが残る山。すぐに植林されれば、切り株が土に還る頃には次世代の木が育って、土壌は保持され、森林は再生されていきます。



トラックへの積み込み



山主スタンプの捺印



造材作業



皆伐木の搬出

間伐を繰り返して皆伐へ  
間伐材を出荷する利用間伐を繰り返しながら、予定の樹齢にまで育った山を皆伐します。



間伐木の搬出



この苗木が大木に育つまで  
百年以上かかります

